



V2w M56

D06147

ラタ・ヤ・バル・ガンガール・

ティラク

近代インドの創造主

目次

| | ページ |
|--|-----|
| 緒言 <small>ちよげん</small> | 007 |
| 若かりし日々 <small>わか ひび</small> | 010 |
| ニューイングリッシュスクールとデッカ教育委員会 <small>にゅーいんぐりっしゅすくーる と でっかん 教育委員会</small> | 013 |
| ケサリとマハラッタ <small>けさり と まはらた</small> | 017 |
| 国民の祝祭 <small>こくみん しゅくさい</small> | 022 |
| 飢饉と疫病 <small>ききん えきびょう</small> | 027 |
| インド学への知的貢献 <small>いんどがく ちてきこうけん</small> | 036 |
| ギータ・ラハシャ | 041 |
| 種々の訴訟事件 <small>しゅじゅ そしやうじけん</small> | 046 |
| ティラクと会議派 <small>ていらく かいぎは</small> | 063 |
| 四項の政綱 <small>よんこう せいこう</small> | 070 |
| ロンドンでのロクマニヤ・ティラク | 077 |
| ティラクとガンジー <small>ていらく かんじー</small> | 080 |
| 思い出の中から <small>おもいで なか</small> | 085 |
| 希なる人格 <small>まれ じんかく</small> | 117 |
| 最後の旅路 <small>さいご たびじ</small> | 130 |
| 家系図 <small>かけいず</small> | 133 |
| 教育の町プネ | 137 |

ロクマニヤ・バル・ガンガーダル・ティラク

近代インドの創造主

緒言と序文ちよげん じよぶん

ロクマニヤ・バル・ガンガーダル・ティラクはマハトマ・ガンディーに「近代インドの創造主」と呼ばれた。インドの将来が形作られる大切な転換期に人生を送った、誠に非凡・多才な人格の人であった。そのユニークな人となりは時の指導者達に影響を与え、その業績が社会発展や独立願望へ人々を立ちあがらせる礎を築いた。生涯を通して数学、法学、天文学、サンスクリット語学を学び修め、学校、大学、マラティー語新聞、英語新聞、そしてまた最初の組合制工場、職業訓練施設、銀行に至るまでを創始した。国民の経済的独立の設計図を描いて見せ、公正な訴訟を巡って入獄を経験し、インドばかりか英国の法廷においても正々堂々と論争を繰り広げ、また天文学、アーリヤ民族の起源、そしてバガワット・ギータに至る多様な書籍を著しもした。斯様な人物は一時代を通してひとり数を数えるのみである。ティラクの生き方こそ実にすべての人となりの指標と言い得、その特質たる科学的知性の探究、怯む事無く私を滅すべき愛国心、正義と真実への信念、自己保身を退け、自らの良心のみに忠実な行動、その品格、清廉潔白さは万人の規範とするところである。



インドの独立闘争はこの類希な自由の闘士、学者、哲学者、天文学者についてかなりの部分を占めて 語らずには語り尽くせない。独立の地平線の彼方を睥睨し、力に満ちた発展的民主国家を夢見ていた人だ。マハトマ・ガンディーが、いみじくも「近代インドの創造主」と名づけた人である。

発行人：ディーパク・ジャヤントラオ・ティラク博士、
ロクマニヤ・ティラク・スマラク信託、
1651, サダシヴ・ペート、ティラク・ロード、プネ 4110
30.
電話:020-24334004/24339005